

K004

- T: 初めまして。
- I: あっ、初めまして。
- T: えー、お名前は？
- I: あっ【I (姓・名)】と申します。
- T: 【I (姓・名)】さんですね。
私【T】と申します。
- I: よろしくお願ひします。
- T: あっ、よろしくお願ひします。
えー、【I (姓・名)】さん、お国はどちらですか？
- I: あっ、中国、えー【地名1】出身ですけども。
- T: 【地名1】ですか〈はい〉。
【地名1】のどちらですか？
- I: 【地名1】【地名2】ですね、あの一、台湾に一番近い〈ほお一〉都市。
- T: はあ一、そうなんですね。
- I: まあ一、【地名1】の省都、になるんですけど。
- T: あっ、省都になるんですね〈はい〉。
なるほど。
えー、【I】さん、日本にいらしゃってどのくらいになるんですか？
- I: そーすね一。
今年10年目で〈うん〉一、まる9年、経っていますね〈ほお一〉、はい。
- T: っということはいつですかね？
- I: 90、9年の4月ですね。
- T: ほ一、99年4月ですか一。
ほ一、もうずいぶん長くてね。
- I: いや一、もう、そろそろ帰らしてもらおうかと {笑}。
- T: なづほどね、はい。
あの一【I (姓・名)】さんは何か好きなこととか、何がありますか？
- I: うーん、基本的に〈うん〉、まあ、映画って言うか〈うん〉、大体DVDを見る、のが好きで〈ふーん〉。
で、もちろん旅行が〈ふん〉大好きなんですけど〈ふんふんふん〉、で、旅行といえば〈うん〉つい先週末、
〈ふんふん〉沖縄行ってきたんですけど、はい。
- T: あ一、そうですか、へ一。
沖縄でも、あの一もう【地名2】とそんなかわらないんじゃないですか？
- I: いやもうびっくりしたのが〈ふん〉、沖縄ついて一〈ふん〉、まあ、その旅行の案内とか〈ふん〉見たんですけど〈ふん〉、【地名2】園って書いてあるんですね〈ふーん〉、この庭園〈ほお一〉。
で、【地名2】の名前がついてて〈うん〉、いや、これは是非み、見に行かないと〈うん〉、で一、奥さんを連れていったんですね〈ふん〉。
で、そこもっとさらにびっくりしたのが〈うん〉、入ってきたときに聞かれるんですね〈ふーん〉、どこからいらっしゃたんすかと〈ふんふん〉、あの一〈ふん〉、警備員の方が〈ふんふん〉。
いや、【地名2】からですよ〈ふん〉って言ったら、もう色んな【地名2】の庭園とか聞かれたんですね、
〈ふーん〉その方に。
もうこんなにつながりが〈ふん〉あるのか、深いつていうか〈ふーん〉、まあ、ほんとびっくりしたんですね。
- T: なるほどね。
まあ、その一、どのくらいいらっしゃったんですか、沖縄に？
- I: いや、3泊四日ですね。
- T: あっ、3泊四日、ご覧になって。
その、えー、まあ、【地名2】と、その、沖縄那覇ですかね？
- I: はい、そうです。
- T: ね、そこ、何か似ているとこと違うとことありましたか？
- I: あっ、やっぱすね一〈うん〉、一番似ているのが、やっぱり、料理なんすね〈ふーん〉。

食べ物なんすね。

こう、沖縄の、沖縄そばとか〈うん〉、あとね、ゴーヤーチャンプルーとか炒め物〈ふんふん〉とか、ソーメンチャンプルーとか〈ふんふんふん〉、そういうのが本当に〈ふん〉うちの地元の〈ふん〉【地名2】料理に似てますね。

T: あー、そうですかー。

I: あっちもほんとこれが懐かしいなっていうようぐらいの〈ふーん〉、似てますね。

T: はー、そうなんですかー〈はい〉。

もっと詳しく教えてくださいか、その料理の似ているところというのを？。

I: で〈ふん〉、そのあちつけ[味付け]〈ふん〉が、もともとそのー、おき、沖縄って〈ふん〉日本ではなくて〈ふん〉、琉球王国〈ふんふん、ええ〉って国だったん〈ふん〉でー、むか、昔〈ふん〉、大昔〈ふん〉、中国から〈ふん〉あさぼうしとか〈ふん〉そういう、使節とか…

T: なっ、何しですか？

もう一回…、

I: えー、冊封使[さっぽうし]で…

T: 冊封使というんですか。

I: あのー、中国皇帝が〈ふん〉、あの、要は琉球〈ふんふん〉という国を認めると〈ふーん〉。

で、その使節を〈ふーん〉はっけん[派遣]して〈ふんふん〉、その琉球王国に来て〈ふーん〉、でー、それが、まあ、認めるよと〈ふんふんふん〉、というのが冊封使ですね。

T: あー、そうなんですか、ふーん。

I: でー、そういうかたかた[方々]が〈ふん〉来たときに〈ふん〉、まあ、入居国として〈ふん〉接待する〈ふん〉っていうのが、今まででんどうてき[伝統的]〈ふーん〉に、な行事が、いまだ、いまだに残っているんですけど。

T: あー、そうなんですか。

I: でー、その、まあ、食べ物とか〈ふん〉、文化とか〈ふん〉、当然そういうところ〈ふん〉、例えば、まあ、【地名2】園の庭園〈ふんふん〉、庭造りというか〈ふんふんふん〉、にしてもですね、やっぱ、【地名2】、まっ、中国の文化を、【地名2】経由で〈はあー〉、まあ、伝えられて〈ふーん〉来たというか。

あれがこの、やっぱ、沖縄の人からしても〈ふん〉、【地名2】っていう〈うん〉凄いなじみのある〈ふんふんふん〉言葉っていうか…

T: ふーん、あっ、そうですかー。

I: でー、料理もそこから〈ふん〉、まあ、ある程度〈ふんふんふんふん〉伝えてきて、でー、そのあちつけ[味付け]とか〈ふん〉、使っている〈ふん〉具材とか〈ふんふんふん〉がー、まあー、うちの地元で〈ふんふん〉、同じような形で〈ふん〉なってるんですね〈ふーん〉。

まあ、多少ね、あの日本人の好みに合わせて〈ふん〉、やっぱ、あま、甘い、甘いつてか甘くする〈ふーん〉って言うのがあるんですけど〈ふんふんふん〉、はい。

T: なるほどね。

ま、確かに、そのー、そういった形で、あのー、料理とか〈はい〉、あのー、そういった交流がね〈はい〉、あったということですね、似てると思うんですけど、〈はい〉その、若者を見て、その【地名2】の若者と沖縄の若者、あるいは日本〈あー〉の若者でもいいんですけど、どうでしょう？。

I: 今、まあ〈うん〉、そうっすね〈うん〉、中国って、こう、昔は〈うん〉、まあ、強い国でした〈うん〉けども、そのやっぱきんたい[近代]〈うん〉、きんたいし[近代史]を見ると〈うん〉、まあ、相当〈うん〉、まあ、あのー、弱いつていうか〈うん〉、色んなこと、あ〈うん〉りましてー。

まあ、日本は、その、50年代から〈ええ〉、まあ、朝鮮戦争で〈ええ〉、いわゆるとくじゅう[特需]景気〈はい〉で、まあ、ものすごく、こう〈ふんふん〉、経済的に伸びてきて〈ふんふんふん〉。

でー、まあ、今の中国と〈ふん〉比べ物にはならない〈うん〉ぐらいの〈うん〉、もう凄いですね〈うん〉今は。

でー、まあ、逆に〈うん〉、今が凄すぎてー〈うんうん〉、今の日本の若者が〈うんうん〉、逆に、あんまり働かないというか〈うんうんうんうん〉、もう豊か〈うん〉、豊か過ぎて〈うん〉。

でー、まあ親に〈うん〉、そのー、甘やかされてる部分も〈うん〉当然あるし〈うんうんうんうん〉。

でー、まあ、それと比べると〈うん〉、中国っていうのは今〈うん〉、発展途上国〈うん〉っていう、確かに国がでかいん〈うん〉ですけど、まあ名目GDP〈ふん〉、まあ、そうこう[総合]で〈うん〉見ると〈うん〉

K004

世界4位なんですけど〈うんうん〉、ただ一人当たり〈うん〉にすると、日本の10分の1なんで〈あー、ふんふん〉。

でー、そういった意味で〈うん〉、ちゅ、今の中国の若者〈うん〉がほんとに、まあ生き生きしてっ〈うん〉ていうか、ものすごく〈うん〉一生懸命やると〈うんうん〉。

でー、まあ、当然、ちようぜん[当然]自分の、生活を〈うん〉豊かにするとか〈ふんふん〉、国を豊かにするとか〈うん〉、そういう色んな夢とか〈うん〉、目標を持って〈うん〉みんなそれぞれの職場で〈うん〉、まあ、一生懸命やっている〈うん〉、頑張ってるってのが〈うん〉対称的なんですな。

T: なるほどね〈はい〉。

で、まあ、その、確かに経済成長をね〈はい〉、中国はしていますけども〈はい〉、最近、ちょっと、色々、こう、えー、例えば最近ではあの牛乳にメラニン〈あー〉って言うもの入れたりとか、…

I: はい、ありますねー。

T: 非常に不正が多いと思うんですけど〈ええ〉、それは、その点どう思いますか？。

I: 確かにすねー〈うん〉。

あの一、自分も中国人なんですけど〈うん〉、でー、じゅうごくじん[中国人]で違って言いますと〈うん〉、目先の利益を求めちゃうんですな〈うーん〉。

でー、まあ、よは[要は]、あの一、90、80年代後半にこう〈ふん〉、鄧小平〈はい〉、当時の国家主席さんが〈ふん〉、まあ、まず一部の人間が〈ふん〉まず豊かに〈ふん〉なって、貧しい人を引っ張ればいいと〈ふんふんふん〉。

で、確かそれはそれで成功〈ふんふん〉なんですけど、でーそれによってですね〈ふん〉、貧富の差がすごく〈ふん〉、あの一、できてしまって〈ふん〉。

でー、貧しい人〈ふん〉ってか、まー、経済、的に余裕がない人〈うん〉がとりあえず一生懸命〈うん〉、まあ、お金持ちになろうと〈うん〉。

で、それを、やっぱ、こう、うまくいく人と〈ふん〉うまくいかない人〈ふんふん〉、当然いるんですけど、…

T: そうですねー。

I: そういう、うまく、なかなかいかないと〈ふん〉と、にはどうしても〈ふん〉、あの一、まあ目先の利益を先に考えて〈ふん〉、で、とりあえずお金をもうけようと〈ふん〉。

で、まあ一長期的なこと〈ふんふん〉考えずに〈ふん〉、で、結果的に〈ふん〉利益を出すために、まず物を作って売ろうとか〈ふん〉、品質面っていうよりも、〈ふん〉まず売る〈ふん〉。

で利益を得る。

T: そうですねー。

I: ってことなんですな。

T: ただ、それをやったがために、中国のその、色んな、例えば特に、えー、食料品ですね〈はい〉、農産物のこう、信頼を失っていると思うんですけどね。

I: そうですねー。

T: その点についてはどう思いますか？。

I: いや、もう〈うん〉、もう、そういう人たち〈うん〉、まあ、全部が全部じゃない〈うんうん〉なんですけど、はずなんですな〈ええ〉。

で、ただ[ただ]、そういった〈うん〉、やっぱ、特に最近〈うん〉、そういった事件が多くて〈うん〉、まあ、餃子中毒事件も…

T: はい、ありましたね。

I: そうなんですけど、そういった食の安全〈うん〉、逆におもちゃとかも〈うん〉、一応まあ一部あるんですけども〈うん〉、その一、品質問題〈うん〉でけか[怪我]したりだとか、そういった部分がほんと〈うん〉、まー、今ものすごく問題に〈うん〉なっててー。

で中国ってのはもともと経済ってのは輸出…

T: う…

I: に頼って〈はい〉、まあ、偏ってる〈ええ〉なん、…

T: そうですね。

I: まあ、経済ん性質〈うん〉、まあ、成長〈うん〉の仕方〈うん〉なんですけど、でー、そういうところが今のこのような、食の問題、食の安全の問題とか〈うん〉でー、いわゆる品質問題〈うん〉だから、もう、こ

K004

んだけ、おお、世界的規模〈うん〉で一、あの一、懸念されると〈うん〉、ものすごく、こう、中国の輸出〈うん〉に対して、もうほんとにマイナス〈うん〉、まあ、影響しかないんですけど〈うん〉、マイナス的な部分が〈うん〉、で一、それによって、落ち込んでる部分がある〈うん〉んですけど…

T: そうですねー。

I: 輸出が〈うん〉。

でほんと、自分が、ひと、一人の中国人〈うん〉として〈うん〉、ものすごく、心配している部分があるんですね。

T: むしろその、【I (姓・名)】さんはですね〈はい〉、その、えー、何、えー、中国の、えー、幹部ですね〈はい〉、その、例えばそういった食品関連の〈はい〉幹部として〈はい〉、そうした、もちろん経済成長も大切だけれども〈はい〉、そうした食の安全に対して、どう、啓蒙していく、そういう立場だったら、どういう風にしていきますか？。

I: そうすね〈うん〉。

で、まあ、そこに〈うん〉、根本的に、〈うん〉どこがだめなのか〈うん〉って僕個人的には〈うん〉、あの一、考えたんですけど〈ええ〉、そこはやっぱり教育のレベルが低い〈ほおー〉ってことなんですよ。んでー、…

T: 教育ですか。

I: そうですね。

僕は、確かー商流、商慣習って〈ふんふん〉いうか〈ふん〉、そういう部分で目先の利益を求める〈ふんふん〉ってことがあるんですけど〈ふん〉、まあ、根本的に、今の中国〈ふん〉その、教育レベルっていうか〈うん〉まあ、学校色んな、こう〈うん〉、日中戦争も〈ええ〉あったんですけど、で、内戦も…

T: はい、ありましたね。

I: ずっと続いてて、でその後、文化大革命〈ふんふん〉10年間あって。

T: ありましたね。

I: で、そういう時代を経験してきた〈ふん〉方々が〈ふん〉、まあ、まあ僕の世代〈ふん〉、今の世代に〈ふんふん〉ちゃんと高校中学校高校〈ふんふん〉大学〈ふんふん〉とか、こうやって、まあ、いわゆる高等教育〈ふんふんふん〉って言うか、まあ、受けてる人とは限らな〈ふんふんふん〉いんで、逆に教育受けていない人が〈ふん〉多いんですね〈ふんふんなるほどねー〉、今の〈ふんふん〉、えー、あの一、私の親父の世代〈ふんふん〉とかですね〈ふんふんふん〉。

そういう人たちが、き、企業とか…

T: あー、なるほど。

I: 経営してて、でやっぱそういう〈ふん〉、レベルの低さ〈ふん〉からまあ色んなね〈ふん〉、こう、やっちゃいけないことを〈ふんふんふん〉やってしまったりだとか、するので〈ふん〉、ま、当然、あの一、当面のことを〈ふんふん〉考えると、政策的には、そういう、まあ、まあ、いわゆる、せ、あの一、罰則というか、〈うんうんうん〉そういうのも許可しなきゃいけないんですけど。

T: そうですね。

I: まあ、長期的には〈うん〉、まず、教育〈うん〉をしっかりと〈ふんふん〉、やっちゃいけないよと〈ふん〉。

で、でなぜやっちゃいけないかっていうのを〈ふん〉教えていかなきゃいけない〈ふんふん〉し、それやると、こういう「しず」がへって、まあ落ち込んできて〈ふんふんふん〉、結局生産が〈うん〉、ものがつくっても売れない〈うん〉よと〈うん〉、そうすると、あの一、今の〈うん〉、とりあえず作って売るよりも〈うん〉いいものを作って〈うん〉、長期的に〈うんうんうん〉、その、工場もね〈ふんふん〉、会社も〈ふん〉うまく成長していけるし〈ふん〉、生き残って〈ふんふんふん〉、まあ、いけるっていうことを、やっぱ全国規模で〈ふん〉やるべきだなーと。

T: なるほどね。

I: はい。

思ってますけど。

T: まあ、ね、あの色々食品の問題もありますが〈はい〉、その、まあそれの前に、あの、なんていうんですかね、大気汚染とか環境問題とか〈あー、はい〉、非常に、あの一、えー、実際に、まあ、日本にはな、なかなか届かない部分があるんですが、情報として〈はい〉、かなりが、その、工場の周りの人が苦しんでいる、っていう風に聞いているんですけど…

K004

I : そうですねー。

T : そのことについてはどう思いますか？。

I : そうですね (うん)。

自分も、まあ、年は、一回くらいは (うん)、あの一、まあ、実家に (うん) 帰ってるんすけど、まあ、やっぱ (うんうん)、色んな話は、友人とか (うん) 親戚から聞いたりはします (ふん) けども、そこはやっぱ、その、先ほど、その、食の問題とか (ふん)、品質問題 (ふんふん) と、同じ (ふん) 考え方なんですね (ふん)。

んで一 (ふんふんふん)、要は、その一、利益を最大に儲けるために (うん) 投資を抑えるんですね (ほお一)。

例えば、あの一 (ふん)、ほんとは (ふん)、この一、その一、まあ一なんて言うかつすね、汚染物って言うか (ふんふんふんふん)、を処理する機械 (ええ) をこりゅう[購入]したりですね (うん)、そういった環境を作ったりだとか (うん) しなきゃいけない (ふんふん) んすけども、それやるのにお金がかかる (ふんふんふん) っていうのもあるんで (うん)、でそれをやらずに (うん)、その一、普通の、一般のきゃくを (ふん)、まあ一、川とかつすね (ふん) に流しちゃったり (ふん)、で、普通のごみとか (ふん)、あの一、廃棄物ちゃんとしたところに (ふん) 出さなきゃいけないんすけども (ふん)、金がかかるんで (ふんふん)、もう山とかに (うん) 放り込んで (うん) 適当に捨てちゃったりとか (うん) してるんですね。

そこは、もうあの一、同じことなんですね (ふん)。

さっきの (ふん) 食問題とかですね (ふん)、はい。

T : このようなことをすると、あの一、周りの人々 (はい)、住民とか、反対運動とか、国の (はい)、その一、国の、その、え一、政策としてはまずいと思うんですけど。

I : そうですね (うん)。

で一 (うん)、おっしゃるととおり (うん)、まあ、ほんとに住民 (うん)、まあ、その工場の近辺の (うん) 方 (うん) だっ、方つすね、やっぱりこう、当然不満がある (ええ) わけですから、で一、それに対して (ふん) 当然色んなこのぶ、部門とかに (うん)、まあ、クレームを入れたり (うん) だとか、はしてますけど (ふんふん)。

で、実際、今、あの一、共産党 (ふんふん) が、その国の、まあ、政経運営 (ふん) してて、でそういった工場とか作ったり (ふん)、え一、まあ、会社を運営 (ふん) してる方って言うのは (うん)、まあ、大体人脈を持つてる (はい) 方が多い (うん) んですね。

T : そうですねー。

I : で一、一般の住民 (うん)、いわゆる庶民が (うん)、その一、ね、政府に対して (うん)、この工場はどうのこうのとか (うん) 言っても、そこの一人脈 (うん) の裏 (うん) では (うん) そういう話 (うん) いっちゃったりして (ふんふん)、で一、逆に (ふん)、あの一、話だけ受けて (ふん)、まあ、何の、しょ、処置もしない (うんうんうん) っていうのも結構多いんですね。

T : そうですね。

まあ日本もね、官僚主義というね (はい)、部分で、その、官僚と、その、実際の経営者との癒着とか (はい)、まあ、その、え一、日本も色々、今、あの一、お米の問題…

I : あっ、そうですね。

T : 汚染米のね、今、問題起こってますが (はい)、それで、その一、あの一、お互いの、その、癒着を、こう、なんていうかな、はっきり告発するとか (はい)、そういったことを、そういった立場、例えば【I (姓・名)】さんがそういう立場 (はい)、非常に、そういう立場に立ったとしたときに、どういう風にすれぱうまくいくと思いますか？。

その、そういったその癒着を切る、関係を切る…

I : まち (うん)、まあ、ここは (うん)、ほんと (うん)、長い歴史から、あの一、しますと (うん)、非常に難しいところ (うん) ですね。

この、今、その近代化なった (うん) 中国が (うん) こういう問題が起きた (うん) ではなくて (うん)、もうほんとに、大昔から (はあ一)、官僚主義 (うん) というか (うん)、でそういう、いわゆる商売 (うん) やっている人と (うん)、そういう官 (うん)、政府 (うん) との、うまく、こう (うん)、関係を結んだり (うん) とか、っていうのは、ほんとに、この3、4000年 (はあ)、歴史 (うん)、まあ、ほんとに、もう、あれ、その (うん)、よく、その、そういった (うん) ドラマ (うん) とか (うん)、そういった、あの一、本とかですね (うん)、歴史の本とか (うんうん)、まあ、読んだり見たりとか (うん) するんすけど、

K004

やっぱ昔からなんですね〈ふーん〉、この商慣習っていうのが。

逆に、中国で、あの一〈うん〉、ビジネスやるのにですね〈うん〉、一番重要なのが、人脈なんですね〈ふーん〉。

で、今もそうなんですけど〈うん〉、そこが、まあ、非常に難しい〈うん〉ところで〈うん〉、んで一、政府がどうのこうもよりも〈うん〉、やっぱ、中国〈うん〉の、その一、いわゆる〈うん〉一般的な市民〈うんうん〉っていうか〈うん〉、庶民、がそういった、あの一〈うん〉、意識をもってですね〈うん〉、で一、あの、ちゃんと声を出すと〈うん〉。

で、世論〈うん〉の力も、〈うん〉今、今以上に〈うん〉すね、あの一、増さなきゃいけないすね〈うん〉。

あの一、今のその、〈うん〉世論の監督力とか、ほ、まあ、ほとんど〈うん〉共産党が〈うん〉押さえ込んでるんで〈うん〉、そういったところがやっぱり良くないですね〈うーん〉。

そういうところを、ほんとに、あの一、大事にして〈うん〉いかないといけないですね。

T: なるほどね。

ちょっと話題が変わりますけども〈はい〉、先ほど、あの一、映画見るのがお好き、とおっしゃっていましたが〈はい〉、あの、DVD〈はい〉、ごらんになって、最近なんか見た映画で…

I: 最近見たんですね。

【タイトル】ですね。

T: 【タイトル】。

I: あの一、まだの一としよう[ロードショー]され、日本っての一としよう[ロードショー]されては、いるんですかね？

T: まだないかな。

I: まあ、実際〈うん〉映画館観にいてないんですけど〈うーん〉、で、まあ、あの一、インターネットで〈ふんふんふん〉そういったサイトがあって…

T: あー、そうなんだ。

I: ですね、そこからダウンロードして〈ふーん〉、で、パソコンで見ているんですけど。

T: あー、そうですか。

I: で、日本での一としよう[ロードショー]される前の…

T: 見られるんですね。

I: あの一、はい、ダウンロードしちゃったりは〈うーん〉してるんですけど。

ほんとは、い、いけないこと…

T: あー、そうなんですかー。

I: かも知れないんですけど {笑}。

T: どんなそのストーリーなんですか？

ちょっと面白そうなんですけど。

I: まあ、それ、やっぱこう、個人的、あの一、個人的にはすね〈うん〉、アクション映画が好き〈ふーん〉なんですね。

あの一、ストーリー性〈うん〉よりも〈うん〉、そういったアクションシーンが〈ふーん〉好きなんですね。

で、まあ、ほんとあれ、ああいうのもその、ちょっと近、近未来的な〈ふーん〉話で〈ふんふん〉、まあ、そ、その、ほんとに、まあその、部分部分のシーンを見て〈うんうんうん〉、まあ、感動したりはするんですけども。

T: その、どこが、印象的なとことかちょっと説明してもらえますか？

I: はい。

で、印象的なところはやっぱり、その、あの一、この普通に銃〈うん〉まあ、で弾撃つんじゃない〈うん〉すか。

で、銃って絶対直線に行くんじゃないすか〈はい〉、弾が〈ええ〉。

で、それが、円になるんですよね〈ほお一〉。

撃って〈うん〉、まあ、撃ち方によって〈うんうん〉ですね、その、弾がこうぐるっと回ってくると〈へえ一〉。

いわゆる、その {笑}、今までの常識を〈ふーん〉覆す〈ふーん〉ような形。

おれは凄い衝撃〈ふーん〉、衝撃でしたね。

今まで見た、まあ、映画の中で〈うん〉、そういった〈うん〉のがないんですね〈ふーん〉。

ま、今回初めて〈ほお〉弾が曲がるんだ {笑}。

K004

T: そうですね。

I: まあ、ありえない話なんですけど。

T: なるほど。

I: はい、それは凄い印象的ですね。

T: ふーん、なるほどね。

あの、まあ、映画での、エンターテインメントのアクション映画ってのは〈はい〉部分ありますが、ただ、子供が見た場合に〈はい〉、ちょっと暴力シーンとかあったときにね、…

I: あー、そうすねー。

T: あのー、ちょっと、その、えー、子供の成長〈はい〉、教育上〈はい〉問題が起こると思うんですが〈はい〉、あのー、【I (姓・名)】さんは、そのことについて、あのー、どこまでを暴力で、どこまでがそうじゃない、…

I: まあ、…

T: とそういった部分の区分はありますか？。

I: そうですね〈うん〉。

でー、やっぱ、そのー、まあ、日本、日本での一どしよ[ロードショー]する〈うん〉とか、その、DVD出すとか〈ええ〉時も〈うん〉、その、専門的な機関で〈うんうん〉、その、R18とか〈うん〉、そういったのは区分つけて〈うんうんうん〉、まあ、その、ね、あのー、映画館とか〈ええ〉、まあ、その、DVDレン、【会社名】みたいな〈ええええ〉ところで、そういうのがね、あのー管理されてると〈ええ〉思うんですけどー、まあ、その、基準が非常に難しいん〈うん〉ですね。

で、そこを全部、例えばそのかと[カット]すると〈ええ〉、もうほんとに面白く〈うん〉なら〈うん〉ないわけですね。

T: そうですね。

I: そういった映画見ると、〈うん〉とは言っても、あのー、〈うん〉先ほどおっしゃったようにですね〈うん〉、子供とか見ちゃうと〈うん〉、まあ、極端な話まねして〈うん〉、あのー、自分と仲が〈うん〉悪い人〈うん〉に対してそういした〈うん〉同じ事を〈うん〉やったりとか、まあ実際に起きたりとかは、してるんですけども〈ええ〉。

で、そういう部分が、そのー、あのー、映画で、まあ、その、編集とかカットとかで〈ええ〉抑えるよりも〈うん〉、まあ、やっぱ、あのー、子供に対する教育だと思うんですね〈うん〉。

まあ、教育する側は〈うんうん〉、まあ、学校だったり〈うん〉、大体その親〈うん〉だったりですね〈ふんふん〉。

こういう映画は見ちゃいけないよ〈うん〉とか、こういったシーンを見て、見てもいいんだけど〈うん〉、それは、映画だから〈うん〉真似しないでね〈うんうん〉とか、そういう風な〈うん〉、あのー、やるべきだと思う〈うん〉んですね。

T: 例えば、その、具体的に、その、そういった、あのー、えー、教育に〈ふん〉携わる立場だとして〈はい〉、そういった、その、映画について〈はい〉、あのー、どこまで見せていいか、見せて〈はい〉よくないかっていう立場で、そのー、そういう教える立場だったとしたら〈はい〉、どこでこう、そのうまく分けますか？。

その〈うん〉、それをどう指導しますか、先生方に？。

I: そうですね。

非常に難しいと思う〈うん〉んですけど〈うん〉、まあ、その、やっぱ、まあ、あのー〈うん〉、実際の映画のシーン〈うんうん〉を出しながら〈うんうん〉ですね、こういうシーンが、〈うん〉だめですよだとか〈うんうん〉、やっぱ言葉だけ〈うん〉、だけですと〈うん〉効果的ではない〈うん〉んで、そういう、画像〈うん〉って言うか、を使いながら〈うん〉で、まあ、その、先、教育家〈うん〉、教育家の先生たちが〈ふんふん〉、まあ、これは、まあそのストーリー的にはこうなんだけど〈ふん〉、実際、現実的〈ふん〉、まあ、非現実的〈ふん〉****とか〈ふん〉でー、やっぱ、あのー、いくら、その、けんかしても〈うん〉、人を殺すことってというのはだめですよと。

T: そうですねー。

I: それがまず〈うん〉、人、命が失ったら〈うん〉、その、ほんとに〈うん〉何にもならないし〈うん〉、何も残らないんで〈うん〉、まず人を殺す行為〈うん〉は〈うん〉絶対的だめですよっていうのを〈うん〉、まずそこからー〈うん〉、あの、教育したほうがいいと思うんですね、はい。

T: はい、分かりました。

K004

で、あの一、ちょっと話題変わりますが〈はい〉、えっと、【I (姓・名)】さんは大学も日本で…

I : そうです、はい。

T : すね。

えー、そのときサークルとか何か入ってました？

I : あの一〈うん〉、ま、僕入った大学〈うん〉って、その、まあ、非常ににゆうがくせい[留学生]〈うん〉、が多かったんですね〈ふーん〉。

それで、まあ4、僕、まあ僕が入ったとき100人以上はいました…

T : あー、そうですかー。

I : ですね〈ふーん〉。

一つの学部でにゆうがくせい [留学生] だけで〈ふーん〉。

であと、実家いますと、あの一、留学生同士が〈ふーん〉かたまっちゃったり…

T : あー、そうなんですねー。

I : とかします。

T : なるほどね。

I : んで、…

T : 分かりました。

I : どうしても、…

T : はい。

じゃあですね、いま映画が好きとおっしゃったので〈はい〉、例えばもし、その、大学で〈はい〉、映画同好会のこう、サークルがあったら〈あー〉入ってたとしますね〈はい〉。

文化祭とかでとても有名な〈はい〉、その、映画評論家を、こう招いて〈はい〉、講演をしてもらうとか、そういうの企画とか、〈あー〉多分行なったら…

I : あー、それはあったらいいんですけど。

T : ですよ。

I : はい。

で…

T : なるほどね。で、これからロールプレイをね〈あつ、はい〉、したいと思うんですけど、その【I (姓・名)】さんはそういったその映画同好会〈はい〉サークルに入って〈はい〉いて、今、あの、副部長〈{笑} はい〉ですね、副部長〈はい〉。

それで、わたくしは【T】と言いますけど〈はい〉、わたしがその映画評論家で、とても有名で〈はい〉えらい、とてもえらいですね〈はい〉。

その人に、あの、アポイントをとったので〈はい〉、あの一、実際にその、お宅に〈はい〉行って、あの、えー、文化祭が例えば、まあ、ら、来週〈はい〉あるとしますね〈はい〉。

あの、えー、来週の土曜日にあるとします〈はい〉。

お願いをしてみてください。丁寧に。

I : あつ、なるほどですね〈はい〉。

アポをとるための。

T : そう、アポをとるということですね。

I : ですね。

T : それではあのノックして入るところからでいいです。

あの、電話で、あの、今日会うことは約束していて。

I : あつ、そうですか {笑}。

ちょっと難しいですね。

はい、ちょっと、やってみます、はい。

T : {ノック音} どうぞ。

I : こんにちはー。

T : あつ、こんにちはー。

I : あつ、どうも初めまして〈うん〉。

えー、大学名っていたほうがいいですか？

T : あつ、いいですよ、いいですよ。

K004

- I : えー, 【大学名】経済学部の, 【I (姓・名)】と申しますー。
- T : 【I (姓・名)】さん。
- I : あっ, 先日お電話で, あの, わし [私] どもの, えー, 経済学部の〈うん〉文化祭に〈うん〉, ご出席いただきたく, お電話した件で, おじゃましますけど。
- T : あー, はいはい, 【I】さんね, はい〈はい〉, ね。
今日いらっしゃると聞いてました, うん。
- I : すんません。
えーと, 今お時間大丈夫ですか？。
- T : あっ, もちろん, もちろん, どうぞ, うん。
- I : えー, 実はですねー〈ええ〉, あのー, まあ, あの, 私もっすねー〈うん〉, 映画見るのが大好きでー〈うん〉, でー, 同じにゆうがくせい[留学生]の中ですね〈ええ〉, 何人か仲間がいて〈ええ〉, で, そういったあのー, まあサークルって言うのを〈うんうんうん〉, まあ, 作ってまして〈ええ, ええ〉, で, 私が〈うん〉副部長を勤めさせて…
- T : あー, そうですか。
- I : もらってます。
してですね〈ふんふん〉, で, 次回, まあ来週〈ええ〉, えー, わし[私]どもの学部, 学部で〈ふんふん〉おこられる[行われる]文化祭なんですけど〈ふんふん〉, そこで, その, あの, 今, 中国の〈うん〉, えー, 話題の映画ですね〈うんうん〉, あのー, 是非, 日本人〈うんうん〉の同級生たち〈うんうん〉に見てもらいたいなと〈うんうん〉。
で, それに対して, そ, あのー, 【T】さんに〈うん〉, まあ, ご参加いただいて〈ふんふん〉, でー, それに対してね〈ふん〉, あのー, コメントをいただきたい〈ふん〉など。
- T : なるほど〈はい〉。
でー, 私が, その, 最近の映画の評論でよろしいですかね？。
- I : そうです, はい。
- T : 分かりました。
では来週ですね。
たまたまあいてますので。
- I : あー, そうですかー。
- T : うん。
で, 午前と午後どちらがよろしいですか？。
- I : あっ, できれば午後, のほうが, お願いしたいと思うんですけど。
- T : 午後ですね, わかりました。
では午後の, そうですね, 何時がよろしいですか？。
2時とか3時とか。
- I : 午後2, えーと, ご都合が。
- T : あっ, 2時, 3時大丈夫です。
- I : あっ, そうですか。
えー, あ, えー, そうでしたらですね〈うん〉, 二時からでお願いできませんか？。
- T : 分かりました。
はい。
ではあの, 【大学名】ですよ？。
- I : はい, そうです。
- T : あのー, えーっと, あそこはどこでしたっけ？。
- I : えっと, 総武線の【地名3】, ですね。
- T : 【地名3】ですね〈はい〉。
でー, そこに, そうですね, 1時半ごろ, 参りますから〈あっ, はい〉。
そのー, あれは西口ですか北口ですか？。
- I : あっ, あのー, 西口…
- T : 西口。
- I : の改札口〈あっ, ああ〉, 出ていただいてですね〈はい〉, あのー, 私が, そのー, …

K004

- T : あっ、そこで。
- I : 改札口でお待ちしておりますので。
- T : あっいらっしゃるのね。
そうして、そうしましょう。
- I : あっ、はい。
で、あの一、学、その一、席までですね〈うん〉、ご案内いたしますので。
- T : 分かりました。
- I : すいません。
是非よろしく願いします一。
- T : わかりました。
あっ、もちろんですね。
よろしく願いします一。
はい、ではこれでひとつロールプレイを終わり〈あっ、はい〉まして、で、実は部長も〈はい〉いきたか
つただけけれども、〈あっ〉とても親しいんですね、部長ね。
- I : あっ、そうですか。
- T : あの一、どうしても行けない用事があるって〈はい〉、心配で電話をかけてきています。
- I : はい、そのサークルの部長ですね？。
- T : はい、そうですね〈はい〉。
とても親しいです〈はい〉。
いつもお酒飲んで〈はい〉ね。
で、あの一、田中タカシといいます。
- I : 田中さん。
- T : タカシでいいです。
- I : あっタカ、タカ、タカシさん、さん？。
- T : 【I (姓・名)】でいいですか、【I (姓・名)】さん？。
- I : あっ、あっ、そういう、あれですよ。
- T : そうそう〈はい〉、そういう〈はい〉あれですね〈はい〉、はい。
そろそろ電話かけてきますね、部長が。
心配でどうなったか。
もしもし。
- I : はい、はい。
- T : 【I (姓・名)】？。
- I : あっ【I (姓・名)】だ…
- T : あっ【I (姓)】、【I (姓・名)】ね。
あっ、ちょっとね、心配で電話したんだけど、もうあの、映画の先生のところ〈あーあーあー〉、アポと、
どうだ？。
行ってきた？。
- I : あっ、あの件？。
- T : うん。
- I : 今ね、おわ、ちょうどお願いしてきた、ところ〈あっ、そう〉。
終わったところで、…
- T : あっ、そうなんだ。
- I : ええ。
- T : あー、そっかそっかー。
- I : なんとかですね、来てくれ、あの一、くれるんだって。
- T : あっ、来てくれるんだって？。
- I : はい。
- T : よかったよかった一。
すごいね、あの人結構ね、あの、難しい人だと聞いたんだけどどうだった？。
- I : 僕も会うまえにすね〈うん〉、ちょっとドキドキして〈うん〉、これ、来れなかったらどうしようって悩ん

K004

でたけどー〈うん〉、あの一、実際会うとですねー〈うん〉、すごい優しい方で。

T: あー、そうなんだ。

I: もう、あっさり、あの一、オッケーしてくれたんすよ。

T: あー、そう、そうなんだー。

よかった、よかつ、じゃあさー、よくがんばったから、これからちょっと、飲み行かない？

I: えっ、まじっ？

T: まじ。

大丈夫大丈夫。

今日お礼に、俺行けなかったから、おごるよおごるよ。

I: あっ、じゃあ、あの、【店舗名】でいい？

T: 【店舗名】でいい、じよじよ、いいよいいよ、【店舗名】で、うん。

いっぱい焼肉食べようよ。

I: {笑} 分かった。

で、じゃあ何時にどこ？

T: 6時からどう？

I: 6時〈うん〉。

これからだと間に合う…

T: 間に合うね。

I: 間に合うんで、ど、どの辺にする？

T: じゃあさ、あ、あの、えひ、駅の、あの西口にしようよ。

I: 了解、了解〈うん〉。

じゃあ〈うん〉、そこ、多分ね、ちょっと、ちょっと早く着くかと思うんだけど〈うん〉、まあ、そこで適当にぶらぶらするから〈うん〉、着いたらまた電話ちょうだい。

T: 分かった、分かった。

じゃあ、そうするね。

I: はい、よろしくー。

T: はい、じゃあねー。

はい。

えー、実際に〈はい〉ね、こういった、あの一、何か、その大学のと時とかで〈はい〉、その一、先生に、こう、お願いしたりとか、アポ、その講演会とか、そういうのありました？

I: そういうのは、まあなかった…

T: あー、そうですかー。

I: んすけど〈うん〉、で、今、その、実際、会社入って〈うんうん〉、でー、まあ、あの営業っていう〈うんうん〉立場なんで〈うん〉、で、いれば色んなお客さんにですねー〈うん〉、その一、まあ、物流業なんですけど〈うん〉、物流〈うんうん〉。

その、そういった、展示会とか〈うんうん〉あったりして、それをし、まあ、あの、参加〈ふーん〉していただけませんか〈んー〉とか、そういのはやっていますけどね。

T: あー、そうですかー〈はい〉。

わかりました。

じゃあ、これからどうしま、これであのインタビュー終わりますけども。

I: あっ、そうですか。

T: うん。

これからはどうなさるんですか？

I: これからは〈うんうん〉、そうですね、今日、日曜日〈うんうんうん〉なんですねー、あの一、うちの奥さんが〈うんうん〉、キリスト教会…

T: あー、そうですねー。

I: 最近ですね、毎週日曜日通って…

T: あー、そうなんですねー。

I: いますんで、まあ、今日も、あの、これから空いてますんで〈あー〉、あの一、家族サービスって、…

T: あっ、なるほど。

K004

I : ていうか, …

T : あっ, そうですか。

I : あの, 自分のためにもですね, ちょっと, き, 教会に〈うんうん〉, あの, 行こうかなと, 思ってます。

T : はい〈はい〉, 分かりました。

あっ, 今日はどうもありがとうございました。

I : あっ, いえいえこちらこそ。

T : これでインタビュー終わります。

I : あっはい, 失礼しますー。